

夢窓幼稚園

通信 第1号

2023年 4月 8日

はなよ はなよ めをさせ
とりがなつて よがあけた
いつもよりも早く咲いた桜に続き、
子どもたちの大好きなチューリップが
高く目覚め、棚の上では 藤の花がその静かに
品よく咲き出しました。
ハトも ツバメも やってきますし、朝には鳥たちの
さえずりがたくさん聞かれます。



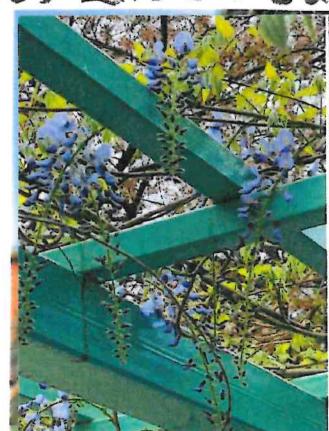
新しい時が 始まりました。

私たちの人間社会や 私たちの生活によって引き起こされた地球の状態を思うと ...

問題は深刻さを増すばかりですが、いのち輝く子どもたちが 今ここにいるのも、また確かのことです。

新しい季節を よろこびをもって 過ごしていきたいと思って
います。

まずは 春に呼応する 半年後の秋のよろこびの季節
までの 目に見える いのち輝くドラマいっぽいの期間を
目標に、ひとつひとつ ゆっくり ゆったり 進んでいきます。



昨年度(2022年度)を振り返り かみしめ 次に向かうとしている今 “秋のゆめマルシェ”のことがいろいろ思い出され、その時の行動を 春に呼び覚まし 今年度を進む 私たち自身を勇気づけたいと思いました。

その折の投げかけを、あらためて2023年度の冒頭にみなさまに届けさせていただきます。

園長 分光泰雄

寺作りの「小さな ゆめマルシェ」を開くことにしました。

私たちが生きている 今の時代には、どうしようもないような大きな矛盾と不条理が横たわっていますが、

太刀打ちできないような そんな状況でも、なお、「私たち自身の輝きから必ずや社会の未来を作っていくのだ!」と願いたいと思います。

エシカル(ethical)という言葉を以前よく耳にしました。元々は倫理的という意味のようですが、「安くて良質な物」「自分にとってどれくらい得か」という基準で選ぶのではなく、もっと広い視野で「社会全体や 環境、母なる地球に優しいもの」を大切にする消費行動・生き方を エシカルと表現しているようです。

主義主張としてではなく、私たちの小さなマルシェづくりの中にもそんな気持ちをいくらかでも注げればと願っています。

一人ひとりが それぞれの夢をもって未来に向かうために、「大切なこと」「今という共有の場」「かけがえのないひとつひとつの意味とドラマ」を分かち合えればと思います。

言わば “ユメシカル”(ゆめ+エシカル)の感覚でしょうか…。

人の豊みの中から生まれてきたものによって 私たちの生活はとても豊かになりましたが、逆に不安や心配も山盛りです。

イソップ物語の まちのネズミみたいな感じでしょうか。

母なる地球は、その表情だけでなく 変わりによって相貌を変えています。

今の時代を導く大天使ミカエルは、人々の豊みに直接関わることはできず、その結果に寄り添い 人々のよろこびに笑顔し、人々の悲しみや苦しみに切ない表情をして立ち合ってくれてくれる…と聞いたことがあります。

ゆめマルシェを、こうした状況ながらこそ “ユメシカル”を合言葉に、のびのびゆっくり ゆったり開催したいと思いました。